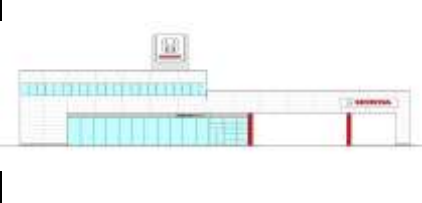


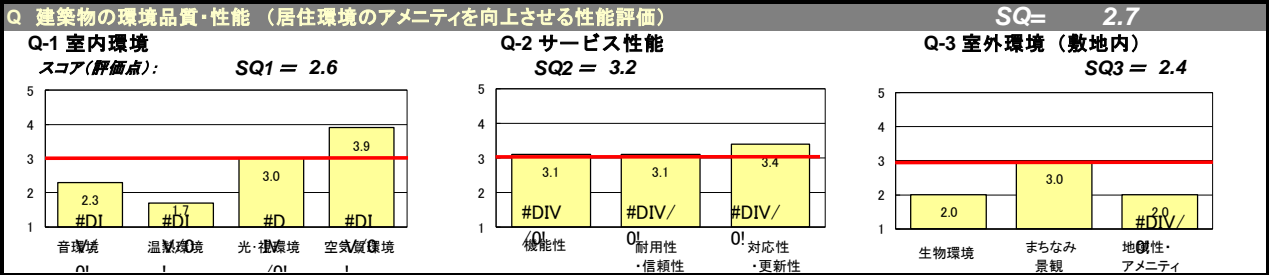
作成日 2015年2月3日 作成者 白石 康二 確認日 2015年2月3日 確認者 美達 哲郎

(1) 建物概要

建物名称	ホンダカーズ静岡 東静岡店	敷地面積	6,308 m ²	
建物用途	物販店 工場	建築面積	1,722 m ²	
建設地	(仮換地)静岡都市計画事業 東静岡	延床面積	2,379 m ²	
気候区分	地域区分IV	階数	地上2F	
地域・地区	商業地域、防火地域	構造	S造	
竣工年	2015年8月 予定	平均居住人員	130 人	
		年間使用時間	3,600 時間/年	

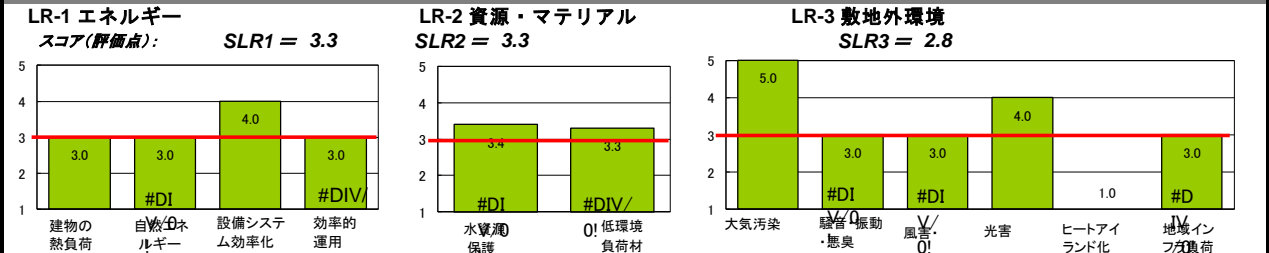
(2-1) 環境性能評価結果 (バーチャート)

注1



LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)

SLR= 3.1

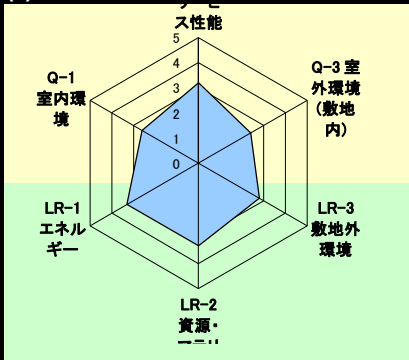


(2-2) 環境性能評価結果 (レーダーチャート)

(2-3) 環境性能効率

BEE

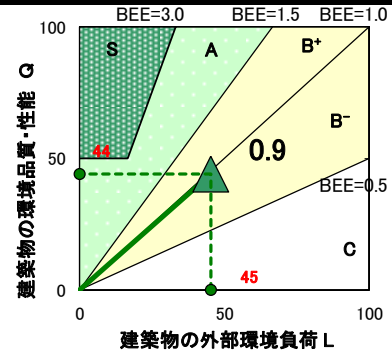
注2



$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の外部環境負荷 } L}$$

$$= \frac{25 \times (SQ - 1)}{25 \times (5 - SLR)}$$

$$= \frac{44.0}{45.3} = 0.9$$



凡例
備考

Q: Quality L: Load LR: Load Reduction SQ: Score of Q category SLR: Score of LR category BEE: Building Environmental Efficiency
 注1: 当該対象区における標準的な計画の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に関わる評価は対象外。
 注2: Qは、環境品質・性能(Q)のスコアSQ(Q-1、Q-2、Q-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。
 Lは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1、LR-2、LR-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。
 注3: (3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。

重点項目についての環境配慮概要				内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。						
“ストップ温暖化しずおか行動計画”の推進(Gloval Warming)						
	■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策)/④部品・部材の耐用年数 ①外壁、屋根に断熱性の高い材料を使用 ④配管・配線材に耐用年数の長い材料を使用 ④主要設備機器に耐用年数の長い機種を使用	Q-1	2	2.1	2.1.3	① 外皮性能
		Q-1	3	3.1	3.1.3	② 屋光利用設備
				3.2	3.2.2	③ 屋光制御
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔
				2.2.2	④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
			2.2.3	④ 配管・配線材の更新必要間隔		
			2.2.4	④ 主要設備機器の更新必要間隔		
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地外周に緑地を設置(緑地率:10.39%)	Q-3	1			⑤ 生物環境保全と創出	
		3	3.2		⑥ 敷地内温熱環境の向上	
■エネルギー対策 (⑦建物の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦複層ガラスの採用 ⑨LED照明の採用	LR-1	1			⑦ 建物の熱負荷抑制	
		2	2.1		⑧ 自然エネルギー直接利用	
			2.2		⑧ 自然エネルギー変換利用	
		3			⑨ 設備システムの高効率化	
		4	4.1		⑩ モニタリング	
			4.2		⑩ 運用管理体制	
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫低環境負荷材) ⑪節水コマ、節水型の器具を採用 ⑫躯体と仕上げ材が容易に分別可能(壁、天井:LGS+仕上材) ⑫ハロン消火剤を一切使用していない ⑫ODP=0の断熱材発泡剤を使用 ⑫ODP=0の冷媒を使用	LR-2	1	1.1		⑪ 節水	
			1.2	1.2.1	⑪ 雨水利用システム	
				1.2.2	⑪ 雑排水利用システム	
		2	2.1	2.1.1	⑫ 躯体材料の再利用効率	
				2.1.2	⑫ 非構造材料の再利用効率	
			2.2		⑫ 持続可能な森林から産出された木材	
			2.3		⑫ 有害物質を含まない材料	
			2.4		⑫ 既存建築躯体などの再利用	
			2.5		⑫ 部材の再利用可能性	
			2.6	2.6.1	⑫ 消火剤	
				2.6.2	⑫ 断熱材	
				2.6.3	⑫ 冷媒	
■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善)	LR-3	5			⑬ 温熱環境悪化の改善	
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)						
	■サービス性能対策 (⑭耐震・免震/⑮信頼性) ⑭地域係数Z=1.2	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑭ 耐震性
					2.1.2	⑭ 免震・制振性能
				2.4	2.4.1	⑮ 空調・換気設備
					2.4.2	⑮ 給排水・衛生設備
					2.4.3	⑮ 電気設備
					2.4.4	⑮ 機械・配管支持方法
				2.4.5	⑮ 通信・情報設備	
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)						
	■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) ⑯店舗部分1階階高:5.85m 2階階高:3.925m 工場部分階高:5.45m ⑯壁長さ比率 店舗部分:0.178 工場部分:0.224	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑯⑰ ユニバーサルデザイン計画
			3	3.1	3.1.1	⑯ 階高のゆとり
					3.1.2	⑯ 空間の形状・自由さ
■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮)	Q-3	3	3.1		⑲ 地域性への配慮、快適性の向上	
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)						
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑳まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1			⑤ 生物環境保全と創出
			2			⑳ まちなみ景観への配慮
			3	3.2		⑥ 敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善)	LR-3	5			⑬ 温熱環境悪化の改善	